

旧)2017年度カリキュラム対応

カリキュラムマップ

2018.3.5

ディプロマ・ポリシー

○人間に対する深い理解と倫理観を身につけ、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を身につけている。

○人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている。

○さまざまな健康状態の人々と関わることができる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。

○自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。

[illegible]

*選択科目

保健師課程

實習科目

カリキュラム マップ^o (2022)

ディプロマ ポリシー	D1:人間に対する理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる感性を身に付け、自己の持てる力を差し出せる。						D2:多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、他者との人間関係を築くことができる。						D6:生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を持ち、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。						
	D3:人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。						D4:さまざまな健康状態の人々に関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別的な看護ニーズを見いだし、根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。						D5:看護専門職者としての誇りと責任感を持ち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と協働できる力を身につけている。						
	学位授与方針																		
4年	通	卒業研究																	
	8	* 選択科目 実習科目	アカデミック イングリッシュ*	高等教育コンソーシアム宮 崎コーディネート科目*	人間常態学 Ⅳ*			精神看護論 演習*		母性看護論 演習*		成人看護論 演習*	老年看護論 演習*	災害看護学 *	死生看護学*				
	7		看護英語*		人間常態学 Ⅰ-3	医療・看護 情報	看護学原論 演習*		公衆衛生 看護論演習	在宅看護論 演習*	小児看護論 演習*			感染看護学 演習*	国際看護論*				
3年	6	放送大学の外国語科目のうちで本学で開講されない外国語科目	高等教育コンソーシアム宮 崎コーディネート科目*				臨地実習Ⅱ (精神)	臨地実習Ⅱ (地域)	臨地実習Ⅱ (在宅)	臨地実習Ⅱ (母性)	臨地実習Ⅱ (小児)	臨地実習Ⅱ (成人)	臨地実習Ⅱ (老年)	家族看護学	臨床実習Ⅲ				
	5		看護英語*					看護方法Ⅲ	精神看護 方法Ⅱ 精神看護 方法Ⅰ		在宅看護 方法Ⅱ	母性看護 方法Ⅱ 母性看護 方法Ⅰ	小児看護 方法Ⅱ 小児看護 方法Ⅰ	成人看護 方法Ⅳ	老年看護 方法Ⅲ 老年看護 方法Ⅱ 老年看護 方法Ⅰ	キャリア デザインⅡ			
2年	4	英語海外研修	高等教育コンソーシアム宮 崎コーディネート科目*	調査の分析と 記述Ⅱ○ 調査の分析と 記述Ⅰ○	人間常態学 Ⅲ	疾病論・ 治療論Ⅰ		臨地実習Ⅰ						看護研究					
	3		情報科学 演習Ⅱ*○		英語Ⅳ○		看護疾病論 Ⅲ	人間常態学・病態学実習	医療・看護の 倫理	看護方法 Ⅱ-2	精神看護学 概論	公衆衛生 看護方法		母性看護学 概論	小児看護学 概論	成人看護 方法Ⅲ	老年看護学 概論	感染看護学 Ⅱ	
	2		ライフスポーツ Ⅱ*	英語Ⅲ○		看護疾病論 Ⅱ	人間常態学 Ⅱ-2	人間病態学 Ⅱ-2 Ⅰ	健康支援と社 会保障制度Ⅱ	公衆衛生学	看護方法 Ⅱ-1		地域包括 ケア実習 在宅看護 方法Ⅰ		成人看護 方法Ⅱ 成人看護 方法Ⅰ		感染看護学 Ⅰ		
1年	2	*	科学入門* ○ 宮崎の自然Ⅱ * 基礎自然科学Ⅱ*	社会学入門*	スペイン語Ⅱ*	韓国語Ⅱ*	中国語Ⅱ*	英語Ⅱ○	英語Ⅲ○										
	1		生体と環境	健康スポーツ 科学															
	宮崎の自然Ⅰ * 生物学入門 * 基礎自然科学Ⅰ*		人間社会と 規範* ライフスポーツ Ⅰ	韓国語Ⅰ*	現代メディアと文 化* 音楽論* 日本の文学と 日本人の心* 日本語 表現法Ⅰ○	中国語Ⅰ*	英語講読 (E. R.)*	英語Ⅰ○	人間常態学 基礎Ⅱ* 人間常態学 Ⅱ-1	人間常態学 Ⅱ-2	人間病態学 Ⅱ-1	精神保健学	看護方法 Ⅰ-2 看護学原論 Ⅱ	公衆衛生 看護学概論	在宅看護学 概論	成人看護学 概論	キャリア デザインⅠ		
領域	自然界と看護	人間社会と看護	個の尊重と看護	文化と看護	看護人間学 総論	看護人間学Ⅰ	看護人間学Ⅱ	看護人間学Ⅲ	基礎看護学	精神看護学	公衆衛生看護学	在宅看護学	母性看護学	小児看護学	成人看護学	老年看護学	看護統合		
分野	普遍分野				専門基礎分野				専門分野										
カリキュラム ポリシー	CP1:人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と、状況に対応できる判断力を身につける。				CP2:看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つけ、これらの仕組みについて理解を深める。				CP3:看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する。また、学修の節目ごとの実習を通して多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護師としての自らの成長を自己評価し、発展させていく。									CP4:各分野の学修を統合。看護の実践能力を高め、生涯にわたる看護学を追究・発展できるようにする。また、国際的視野を身につけるため、異文化を理解する。	
	CP5:物事の本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。				CP6:到達目標に照らして自己評価しながら学修する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。専門科目では〈自己学習ーグループ学習ー個別指導ー自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学修を推進する。														
	ナイチンゲール看護論を基盤に、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを支援できる看護専門職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育て、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成。学生の主体的な学修を推進する教育方法ととりいれ、学生のニーズをふまえて到達度が高まる環境を整える。各授業科目の評価規準、基準をシラバスで明示し、厳格で客観的な成績評価を行う。																		